

# Career Quest



令和2年4月28日  
島根県立江津高等学校  
進路指導部

新学年が始まり、約1ヶ月が過ぎました。まもなく2年生になって最初の定期試験が実施されます。昨年1年間で培ってきた力が発揮でき、さらにそれを伸ばさせることができるよう、もう一度学習習慣を見直し、しっかりと準備をして中間テストに臨みましょう。

## 1. 家庭学習を見直してみよう

下のデータは、難関大学に合格した先輩の2年スタート時における家庭学習についてまとめたものです。これらを参考に、まずは家庭学習について考えてみましょう。

### 1. 学習時間

選択肢	平日	休日
	合格者	合格者
30分以下	28.9	15.2
1時間	18.3	10.7
1時間30分	15.1	8.0
2時間	23.5	17.8
3時間以上	14.1	48.0

網掛け部分に注目してみてください。

難関大合格者のうち、約4割の先輩が、平日2時間以上、約5割は休日3時間以上の学習をしている事がわかります。

### 2. 学習内容

選択肢	国語	数学	英語
	合格者	合格者	合格者
予習・宿題	34.4	10.6	27.9
宿題・復習	11.5	33.1	13.8
予習・宿題・復習	12.1	12.3	18.0
予習・宿題・復習とその他の学習	3.6	12.5	10.7
宿題と試験前の学習のみ	18.9	17.9	14.4
試験前の学習のみ	6.0	2.4	3.0
予備校・塾・通信教育の学習中心	2.7	4.4	5.5
自主学習はしていない	10.4	6.7	6.5

合格者の多くが、宿題や試験前の学習だけでなく、予習や復習も含めた自主学習を行っている事がわかります。

\* 「合格者」のデータは、2018年度入試における難関大(GTZ(学力):S1~S3レベル)合格者の、スタディーサポート2年生第1回の平均回答率。

## 2. 学習方法を見直してみよう

試験で力を発揮できるようになるには、効率的な学習が大切です。まずは中間テストに向けて、もう一度自分の学習について見直してみましょう。

【試験勉強を始める前に】

試験勉強をする際、必要なものはそろっていますか？確認をしましょう。

○ **教科書・ノート・問題集やワーク・プリント 等**

【各教科のポイント】

国語、数学、英語の3教科について、効果的な学習スタイルをまとめました。参考にして、自分の学習方法を見直してみましょう。

**国語** ワークの問題を解いてからの取り組みを大切にしよう

ワークの問題を解いてから、解答で大事なポイントを理解しましょう。教科書やワークの本文を読み込むことも忘れずに。また、古典の基本である単語や文法、句法は毎日少しずつ覚えていきましょう。

**数学** 解き方を理解してから、問題演習でさらに理解を深めよう

数学は暗記よりも、理解して問題を解く割合が多い科目です。公式等を使いこなして問題を解くことができるよう、演習の量を確保しましょう。

**英語** 基本文や単語を覚えよう

英語は、言葉の使い方のルールを身につけることで、文章を読めるようになります。そのためにまず、教科書や単語帳に出てくる基本例文や単語を覚え、ルールを理解しましょう。音読も効果的です。



## 3. 学習計画を立てよう

中間テストに向けた学習計画を立てるうえでのポイントを下にまとめています。特に、今回の課題はテスト範囲にも含まれます。計画的に、しっかりと取り組みましょう。

【ポイント】

- 各教科から出された課題をもう一度確認しよう。
- 課題等、日々やるべきことを洗い出し、計画を立てよう。
- 今日からテストに向けた準備を始め、無理のないスケジュールを立てよう。
- 苦手な科目にはできるだけ早めに取りかかり、時間をかけて取り組もう。
- 休業中にワークやプリントの問題を繰り返し解き、学校再開後、わからなかった問題を質問したり復習したりできるような準備をしておこう。
- 毎日、計画を実行できたかどうか確認しよう。

～定期試験の結果が返却されたら必ず復習しよう～

定期試験の結果が返却されたら、必ず復習しましょう。定期試験では、試験範囲の中で最も重要な部分が出題されているので、その都度復習することで効率的な学習を行うことができます。間違えた箇所をしっかりと見直し、弱点分野をつくらないようにしましょう。